

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2024年

1
月号

Vol.71 No.823

巻頭言

年頭所感 「戮力協心」 江田哲男

告 示

2024・2025年度代議員及び予備代議員の立候補受付について

会 告

2024年「新春のつどい」のご案内
第148回日暮里塾ワンコインセミナー
2023年度城北支部研修会
2023年度多摩支部研修会
第21回ウインターセミナー

お知らせ

2023年度第11地区研修会

報 告

東京都功労者表彰

連 載

[消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査
第20回～大腸憩室について③～ 安藤健一

新連載

[核医学治療 Update] 第1回～概論～ 松友紀和



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

新年賀謹

2024年 元旦
本年もよろしくお願ひ申し上げます

理事（第三地区）	布川 嘉信	事務局	引地 春枝	理 業務施行（総務）	鈴木 雄一	委員長（第四地区）	上田万珠代
監事	中澤 靖夫	監事	白木 尚	理 事（教育・国際）	小林 隆幸	委員長（第五地区）	中田 健太
顧問	篠原 健一	監事	野田扇三郎	理 事（広報）	長谷川雅一	委員長（第六地区）	伊佐 理嘉
顧問	島田 諭	委員長（厚生調査）	今尾 仁	理 事（情報）	竹安 直行	委員長（第七地区）	富丸 佳一
理事（第一地区）	増田 祥代	理事（SR推進）	渡辺 靖志	委員長（第十二地区）	名古 安伸	委員長（第八地区）	宇津野俊充
委員長（第二地区）	委員長（第十四地区）	理事（第十三地区）	吉村 良	委員長（第十地区）	澤田 恒久	委員長（第九地区）	高野 修彰
理事（第十五地区）	原子 満	理事（第十六地区）	宮谷 勝巳	委員長（第十四地区）	鮎川 幸司	西郷 洋子	浅沼 雅康
事務局	関谷 薫	事務局		理事（第十五地区）	原子 満	大津 元春	

目 次

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

謹賀新年	1
巻頭言 年頭所感「戮力協心」	会長 江田哲男 3
告示1 2024・2025年度代議員及び予備代議員の立候補受付について	選挙管理委員会 4
会告1 2024年「新春のつどい」のご案内	8
会告2 第148回日暮里塾ワンコインセミナー	学術委員会 9
会告3 2023年度城北支部研修会	城北支部委員会 10
会告4 2023年度多摩支部研修会	多摩支部委員会 11
会告5 第21回ウインターセミナー	学術委員会 12
会告6 2023年度城南支部研修会	城南支部委員会 13
会告7 2023年度第1回災害対策研修会	SR推進委員会 14
お知らせ1 2023年度第11地区研修会	第11地区委員会 15
お知らせ2 2023年度第12地区研修会	第12地区委員会 16
お知らせ3 2023年度第6地区研修会	第6地区委員会 17
お知らせ4 2023年度第9地区研修会	第9地区委員会 18
お知らせ5 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 19
報告 東京都功労者表彰	20
連載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査	
第20回～大腸憩室について③～	安藤健一 23
新連載 [核医学治療 Update] 第1回～概論～	松友紀和 31
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2023 No.11)	36
2023年4月～11月期会員動向	37
2023年度第7回理事会報告	38

Column & Information

・東放技入会無料のお知らせ	22
・学術講演会・研修会等の開催予定	37
・東放見聞録	42
・求人情報	43

2024年の表紙

今年の表紙は趣向を変えて、色ではなく鉱物のクリスタルをイメージして作成してみました。優れた浄化と邪気払いの力を宿す石“クリスタル(和名:水晶)”は邪気払いの力がとても強力で、自らが盾となり他人の邪念や災いから持ち主を守るといわれています。またネガティブな感情を消し去り、空間や他人の“気”を浄化し清める効果もあるといいます。

「東京放射線」が会員の皆さまの成長や発展に力を与える、パワーアイテムになれば幸いです。

本年もより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

編集委員会

卷頭言



年頭所感「戮力協心」

会長 江田哲男

2024年を迎え、皆さまにおかれましては新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆さまには昨年、本会事業へ多くのお力添えをいただき誠にありがとうございました。

今期の事業も順調に進むことができましたことを心より感謝申し上げます。

昨年は、コロナ感染症も徐々に収束してきた移行の年だったと思いますが、この感染症拡大により私たちは多くのことを学びました。本会事業ではWeb方式という新しい機能を導入し、簡易的に会議や研修会などに参加ができるようになったことは画期的だったと思います。今後もこの方式を導入し、活発な技師会活動を図っていきたいと思います。

会長として就任してから1年が経過しました。振り返ると多くの反省点はございますが、皆さまのおかげで大きな問題もなく、事業を進めることができました。中でも本年度の目標としていた入会者も、おかげさまで2,600名以上の会員となっています。これもひとえに会員一人ひとりが本会事業にご興味をお持ちいただいた結果だと思います。

昨年、私は年頭所感に会員が「楽しめる」環境を作りたいと述べましたが、皆さまが果たして楽しかったのか？ やや疑問でもありますが、私自身はたくさん楽しませていただきました。特に広報委員会が企画した各地区の区民祭りへの参加等々では、都民の方々との触れ合いを通じて公益事業の大切さを改めて認識することができたこと。もう一つ、各地区の仲間たちと親睦が図れたことは、とても楽しかったです。また、ペイシェントケア学術大会も学術委員会が中心となり、専門部委員会の方々と共に大きなイベントが開催できたことはとても嬉しかったです。

今年はもっと多くの事業を展開し、会員を巻き込みながら活発に事業活動を展開していきたいと考えています。

現在、告示研修等々は優秀なファシリテーターの方々のおかげで、TARTから多くの研修修了者を輩出することができました。今年も引き続き、たくさんの告示研修修了者を輩出していきたいと思います。

新しい年を迎える、皆さまもきっと今年の目標を考えていると思います。目標をいつも持って行動している人は、大きな成長があると思いますし、目標に向かって生きている人は非常に魅力的です。また、目標を達成するとそこには充実感も感じられると思います。

今年は、皆さまと共に会の目標をしっかりと定め、皆さまと共に「戮力協心」の心をもって臨んでいきたいと思います。

本年も皆さまと共に「楽しみ」ながら、技師会活動を実施していきたいと思います。

告 示

公益社団法人東京都診療放射線技師会 2024・2025年度代議員及び予備代議員の立候補受付について

2024年1月1日

公益社団法人東京都診療放射線技師会
選挙管理委員会 委員長 中田 健太

公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款第12・13条並びに代議員及び予備代議員選出規程により、
2024・2025年度の代議員及び予備代議員の立候補受付を下記の通り行う。

記

選挙の実施内容：公益社団法人東京都診療放射線技師会の代議員及び予備代議員

任期：2024年4月1日～2026年3月31日

立候補要件：本会の会員であり、当該年度の会費を完納していること。

定数：別表1参照

立候補受付期間：2024年1月1日（月・祝）から1月31日（水）17時00分まで（必着）

立候補届提出先：公益社団法人東京都診療放射線技師会 選挙管理委員会 宛

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号

投票方法：代議員及び予備代議員の選挙は、選挙管理委員会の管理のもと立候補者が所属する地区
において郵送にて実施する。

選挙結果の告示：本会会誌で行う。

選挙の日時：2024年2月29日（木）17時00分まで（必着）

その他の必要事項については、本会のホームページ上に掲載する。

注意事項：1) 立候補者は所属する地区委員長に対しても、立候補する旨を届け出ること（地区メールアドレス：別表1参照）。

2) 立候補に必要な書類は、会誌6～7ページまたは本会ホームページ (<https://www.tart.jp/>) 上にある様式10・11にて提出すること。

以上

(別表1)

2024・2025年度代議員及び予備代議員定数

地区	代議員数	予備代議員数	メールアドレス	地区	代議員数	予備代議員数	メールアドレス
第1地区	3	1	area01@tart.jp	第9地区	6	1	area09@tart.jp
第2地区	5	1	area02@tart.jp	第10地区	4	1	area10@tart.jp
第3地区	6	1	area03@tart.jp	第11地区	3	1	area11@tart.jp
第4地区	7	1	area04@tart.jp	第12地区	3	1	area12@tart.jp
第5地区	6	1	area05@tart.jp	第13地区	14	1	area13@tart.jp
第6地区	4	1	area06@tart.jp	第14地区	5	1	area14@tart.jp
第7地区	6	1	area07@tart.jp	第15地区	4	1	area15@tart.jp
第8地区	7	1	area08@tart.jp	第16地区	3	1	area16@tart.jp

※2023年9月30日現在の会員数(会員動向)をもとにした代議員数

選挙管理委員会(2023年12月12日承認)

公益社団法人東京都診療放射線技師会 代議員及び予備代議員選出規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人東京都診療放射線技師会定款（以下、「定款」という。）第13条に定める代議員及び予備代議員（以下、「代議員等」という。）選出のための選挙について規定する。

(選挙権)

第2条 定款第5条第1号により正会員として登録されたものは、この規程に定める選出につき選挙権を有する。

(被選挙権)

第3条 定款第13条第2項に定める代議員等に立候補する者は、正会員としての資格を有する者とする。
2 立候補する者は、当該年度の会費の完納者であること。

(立候補届)

第4条 代議員等に立候補する者は、地区委員長に申し出を行い、立候補届【様式10】、【様式11】に記載し、期日までに選挙管理委員会に届けなければならない。

(代議員等の選出)

第5条 代議員等の選出は2年に一度、1月から3月に行う。
2 代議員等の選出は、以下の各号による。
(1) 候補者が定数または定数に満たない場合は、無投票当選とする。
(2) 候補者が定数を超えた場合は、投票を行う。投票は、定数内連記投票とする。
(3) 当選は、定数内で白票を除く有効投票の上位得票順とする。
(4) 得票が同数の場合は、抽選等にて決定する。

(代議員及び予備代議員選挙の投票、開票及び立会人)

第6条 代議員等の選挙は、郵送またはそれに代わる手段にて投票を行う。
2 選挙管理委員会は投票締め切り後、立会人の立会いのもとを開票する。
3 立会人は、正会員の中から、選挙管理委員会が選任する。

(選挙結果の公表)

第7条 代議員等の選挙の結果については、選挙管理委員会が速やかに公表する。

(異議申立)

第8条 代議員等選挙の効力に対し、不服がある選挙人または候補者は、選挙管理委員会に異議を申し立てることができる。
2 异議申し立ての受付は、開票結果発表日から1週間以内とする。
3 异議申し立てに対しては、選挙管理委員会で協議する。

(代議員証の発行)

第9条 選挙管理委員会は、異議申し立て期間終了後速やかに代議員証を発行する。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、理事会の決議によるものとする。

附 則

1 この規程は、平成29年6月18日から施行する。

公益社団法人東京都診療放射線技師会

代議員 立候補届

年 月 日

公益社団法人東京都診療放射線技師会
選挙管理委員長 殿

私は、_____・_____年度 公益社団法人東京都診療放射線技師会代議員選挙に立候補いたします。

つきましては、下記の通り立候補届を提出いたします。

記

所属地区：第 _____ 地区

氏 名（自署）：_____ 印

生年月日：昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日（_____歳）

勤務先名：_____

自宅住所：〒 _____ - _____

電 話：_____ (_____) _____

以上

選挙管理委員会受理 年 月 日

選挙管理委員長 印

公益社団法人東京都診療放射線技師会

予備代議員 立候補届

年 月 日

公益社団法人東京都診療放射線技師会
選挙管理委員長 殿

私は、_____・_____年度 公益社団法人東京都診療放射線技師会予備代議員選挙に立候補いたします。

つきましては、下記の通り立候補届を提出いたします。

記

所属地区：第 _____ 地区

氏 名（自署）：_____ 印 _____

生年月日：昭和・平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日（_____ 歳）

勤務先名：_____

自宅住所：〒 _____ - _____

電 話：_____ (_____) _____

以上

選挙管理委員会受理

年 月 日

選挙管理委員長

印

云告 1

2024年「新春のつどい」のご案内

新型コロナ感染症の影響により4年ぶりとなる、本会主催による「新春のつどい」開催のご案内を申し上げます。新春を迎えるにあたり、日頃ご交誼をいただいております放射線関連企業・学校教育機関・関係諸団体・本技師会各位が一堂に会し、新年の抱負を語り、また、情報交換の場としてご歓談いただき、親交を深めていただきたいと存じます。

お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

開催日時：2024年1月12日（金）19時00分～20時30分

(受付開始18時30分より)

開催場所：「アートホテル日暮里ラングウッド」 2階 凰凰の間

荒川区東日暮里5-50-5 Tel 03-3803-1234

交 通：JR日暮里駅南口下車 徒歩約1分

- 次 第：1) 開会のことば
2) 会長挨拶
3) 来賓挨拶
4) 乾杯
5) 懇親（名刺交換）
6) 閉会のことば



会 費：5,000円

新卒かつ新入会員^{*}の方は無料です。奮ってご参加ください。

問い合わせ：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

会告 2

第148回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催） テーマ「学術・教育委員が選んだ発表演題」

恒例となりました「学術・教育委員が選んだ発表演題」をWeb開催致します。

本年度開催された関東甲信越診療放射線技師学術大会、第39回日本診療放射線技師学術大会において発表された演題の中から学術委員、教育委員が協議し9演題選出させていただきます。

学会に参加できなかった方、参加したけれど聞けなかった方、もう一度聞きたい方、多くの方の参加をお待ちしております。

発表演題は本会ホームページ (https://www.tart.jp/event/detail/detail_157.html) に掲載しております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2024年1月10日（水）18時30分～20時10分

受 講 料：無 料

開 催 方 式：Web開催（Zoom）

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

定 員：定員は特に設けておりません

申込締切日：2024年1月3日（水）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修1.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告

3

2023年度 城北支部研修会 (Web開催)

テーマ「スタッフの不調は「食事」が原因!? 事例から解説するスタッフの心と体のヘルスケア 1品100円置き型社食®」

講師：スタンフォード大学精神医学・行動科学講座／東京医科大学精神医学分野 志村 哲祥 先生
株式会社OKAN 清水 要 氏・藤田みづき 氏

皆さま、健康な食生活を意識していますか？

2023年度の城北支部研修会では、東京医科大学精神医学分野 志村哲祥先生を講師にお迎えして、メンタルヘルスと食事の重要性についてご講演いただきます。

睡眠・食事・運動などの生活習慣とメンタルヘルスは強く関連するといわれます。

その中でも食事にターゲットをおいて、どのような食事や食べ方が精神状態に影響するのか？ 食を通じてスタッフのモチベーションはどのように上がるのか？ など、産業医面談の実例等を交えてお話ししていただきます。

また、スタッフ控室などに置き型社食で、健康的な食事をサービスする企業様の取り組みを紹介します。

昼食時に『もう一品欲しい！』、夜勤時に『ちょっと小腹が空いたがお店に買いに行く時間がない！』のような時に、簡単で便利に利用できる置き型社食の導入方法から、どのようなお惣菜が提供されているのかを紹介していきます。

皆さん自身の普段の栄養バランスはいかがですか？ 『医者の不養生とは言いますが、私たち医療従事者も他人ごとではございません!!』 一緒に食事から心と体の健康を見直してみましょう！

ご参加をお待ちしております。

※「置き型社食®」は株式会社OKANの登録商標です。

開催形式は、ZoomによるWeb開催予定です。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2024年1月26日（金）19時00分～20時30分

開催方式：Web開催（Zoom）

受講料：無 料

定員：50名（先着順）

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2024年1月19日（金）

問い合わせ：城北支部委員会 E-Mail : shibu_jyouhoku@tart.jp

第5地区委員長 中田健太

第6地区委員長 伊佐理嘉

第16地区委員長 関谷 薫（城北支部委員長）

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724 以上

会 告

4

2023年度 多摩支部研修会 (Web開催)

テーマ「小児撮影のいろは」

講師：総合母子保健センター 愛育病院 診療放射線科 上田 万珠代 氏

皆さまの施設では小児撮影は、どのように行っていますか？ 専用の撮影補助具は使いこなせていますか？ 日勤帯のスタッフが揃っている時は対応できるが、休日・夜間帯で一人での対応に不安はありませんか？

検査の説明や接遇、撮影準備から補助具などを用いた撮影のポイント。加えて小児の画像診断、特徴的な画像所見まで、小児撮影の基礎を中心に小児科に特化した病院の診療放射線技師を講師に招き、お話しいただきます。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2024年2月2日（金）19時00分～20時00分

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：50名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2024年1月26日（金）

問い合わせ：多摩支部委員会 E-Mail : shibu_tama@tart.jp

第13地区委員長 鮎川幸司（多摩支部委員長）

第12地区委員長 吉村 良

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上

会 告

5

第21回ウインターセミナー

テーマ「一般撮影の画像処理と最新情報」

講師：キヤノンメディカルシステムズ株式会社 講師未定
コニカミノルタジャパン株式会社 林 哲平 氏
富士フィルムメディカル株式会社 伊藤 大樹 氏

一般撮影の画像イメージ処理方法について、各メーカーの方から解説をしていただきます。

基本的にはオートマチックで画像処理が行われていますが、撮影体位や撮影位置によっては適正な画像処理が行われないこともあります。読影しやすい画像作成のための処理方法について皆さんと一緒に情報共有したいと思います。そして、各メーカーによる最新情報についても伝えていただきます。

会場型対面形式にて開催を致します。参加費については、当日会場受付にて徴収致します。

参加者の皆さんが安心して参加できるよう、感染予防対策を講じて開催致しますのでご協力をお願いします。

記

日 時：2024年2月3日（土）15時00分～17時00分

場 所：東京医科大学病院 自主自学館3階 大教室

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

アクセス：東京メトロ丸ノ内線 西新宿駅下車 2番出口 または E5番出口よりすぐ
都営大江戸線 都庁前駅下車 A7番出口より徒歩約7分

受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円、

新卒かつ新入会員* 無料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：100名（先着順）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修2.0カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

2023年度 城南支部研修会（Web開催）

今回は、私たち診療放射線技師にとって必須の知識、一般撮影と被ばく相談について、日本診療放射線技師会 骨関節撮影分科会と放射線被ばく相談員分科会から、分科会長を講師にお招きして活動や最近のトピックスなどを講演いただきます。

講演1 「一般撮影を組み立てる」

講師：JART骨関節撮影分科会 分科会長／清水赤十字病院 中川 英之 氏

講演2 「放射線被ばく相談員分科会の紹介と活動、最近のトピックス」

講師：JART放射線被ばく相談員分科会 分科会長／群馬県立県民健康科学大学 五十嵐 博 氏

- ・一般撮影の経験が浅い方
- ・久しぶりに一般撮影に配属された方
- ・定年後の再就職を検討している方
- ・仕事にブランクのある方
- ・他施設との交流がなく我流ではないか？とお思いの方

お心当たりのある方、ない方も、是非ご参加ください。

Zoomを利用した講演ですので、遠方からのご参加も歓迎しています。

非会員の方でもご興味のある方はぜひご参加ください。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2024年2月20日（火）19時00分～21時00分

開催方式：Web開催（Zoom）

受講料：無料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2024年2月13日（火）

問い合わせ：城南支部委員会 E-Mail：shibu_jyounan@tart.jp
第15地区委員長 原子 満（城南支部委員長）
第4地区委員長 上田万珠代
第8地区委員長 大津 元春
第11地区委員長 名古 安伸
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724 以上

2023年度 第1回災害対策研修会

テーマ「緊急被ばく医療研修会～3.11を風化させないために～」

主催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 SR推進委員会
講師：SR推進委員会委員

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故にあたり、公益社団法人東京都診療放射線技師会では、発災直後の被災地におけるサーベイ活動、都内避難所における放射線サーベイボランティア活動など、放射線専門の職能団体として活動を行いました。これらの活動・経験を語り継ぎ風化させないために、また、サーベイヤーの育成を継続するため本年度も研修会を企画しました。

本年度はクイックサーベイ実習を行います。皆さまのご参加をお待ちしております。

プログラム

～3.11の経験とその後の対応を踏まえて～

1. 緊急被ばく医療（原子力災害時医療）について
2. クイックサーベイ（概論）
3. クイックサーベイ（実習）

記

日 時：2024年3月9日（土）13時00分～16時30分（受付開始：12時30分～）
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
定 員：20名（先着順）
受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円（当日徴収）
申込方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修3.0カウント付与
問い合わせ：SR推進委員会 渡辺靖志 E-Mail：saigai@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2023年度 第11地区研修会

テーマ「胸部X線透視動画を用いた肺血流イメージング」 ～非造影で行う肺血流解析～

講 師：東邦大学医療センター大橋病院 循環器内科 講師 池田 長生 先生
循環器内科 助教 佐藤 学 先生
株式会社メディオット 吉田 典史 氏

肺塞栓症の鑑別やその治療効果判定など、肺血流を評価したい場面は数多くあります。しかし、被ばく量が多いことや造影剤を使用しなければならないなど患者への負担が大きくなります。

今回ご紹介するソフトウェアは、低被ばく・造影剤不使用の撮影と、数ステップの操作で肺血流情報を得ることができます。

そこで、本研修会では、ソフトウェアの概要と使用経験を、ソフトウェアベンダーの方と実際に使用されている施設の方からお話ををしていただくこととなりました。

ご興味のある方はぜひご参加ください。

記

日 時：2024年1月25日（木）19時00分～20時30分

開催場所：東邦大学医療センター大橋病院 臨床講堂
東京都目黒区大橋2-22-36

アクセス：東急田園都市線 「池尻大橋」駅 北口 徒歩3分
京王井の頭線 「駒場東大前」駅 西口 徒歩10分

定 員：50名（先着順）

受 講 料：500円（一般・学生：無料）

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2024年1月18日（木）

問い合わせ：第11地区委員長 名古安伸 E-Mail：areall@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ

2

2023年度 第12地区研修会 (Web開催)

テーマ「整形外科医に聞く 骨粗鬆症における画像解析の必要性
～DEXA法、CT画像再構成～」

講 師：東大和病院 整形外科科長 山岸 賢一郎 先生

現在、高齢化社会が進むなか骨粗鬆症患者が1,000万人を超えるといわれ、社会問題のひとつとなっています。日々の業務でも椎体骨折、大腿骨近位部骨折などに高い頻度で遭遇しているはずです。その原因のひとつである骨粗鬆症を予防するためには、骨質、骨量から骨の強度を把握するDEXA法が欠かせません。「骨密度なんて誰でも撮れるだろ」と軽く考えていませんか？

普段、「骨折をした」ときの画像診断が注目されがちですが、今回、「骨折をしない」ための予防医学に必要不可欠な画像解析に注目して、DEXA法を中心に、整形外科医師の視点から詳しく解説していただきます！

整形外科領域にとって画像診断は欠かせないものであり、われわれの撮影した画像がいかに必要とされ、治療に活用されているかを知る貴重な時間になるはずです。新人の方からベテランの方まで、技術の会得や知識の再確認のためにも、皆さまの参加をお待ちしております。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2024年2月8日（木）19時00分～20時00分

開催方式：Web配信（Microsoft Teams）

定 員：50名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2024年2月4日（日）20時00分

問い合わせ：第12地区委員長 吉村 良 E-Mail：area12@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

2023年度 第6地区研修会（Web開催）

テーマ「骨粗鬆症診療の夜明け」

～胸部X線から骨の状態を評価するAI医療機器による社会的インパクト～

講 師：iSurgery株式会社 代表取締役／名古屋大学大学院医学系研究科 客員研究員
医師 佐藤 洋一 先生

近年、AI技術の進歩がみられ、人工知能が私たちの生活に欠かせないものとなってきています。こうした技術が医療にも導入されており、医療放射線分野においても撮影技術や画像処理に活用されるものが増えてきています。われわれ診療放射線技師にとってAI技術は、業務に欠かせないものとなってくるかもしれません。

現在、日本における骨粗鬆症患者は約1,300万人とされています。しかしながら、骨粗鬆症検診受診率は低いため早期発見が難しく未治療の患者さんも多くいるといわれております。こういった状況を解決するために、日頃見なれている胸部X線から骨の状態を評価できるAI技術をご紹介致します。

エッ!? と驚く方もいらっしゃるでしょう。まさに放射線検査の在り方を考えさせられるご講演になるのではないかでしょうか。新人からベテラン技師の方まで、最新技術の知識を得るためにも皆さまのご参加をお待ちしております。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2024年3月1日（金）19時00分～20時30分

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：50名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2024年2月26日（月）

問い合わせ：第6地区委員長 伊佐理嘉 E-Mail：area06@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ

4

2023年度 第9地区研修会 (Web開催)

テーマ「STAT(R)T画像」
～これから始める緊急時画像報告～

講 師：国立病院機構水戸医療センター 田中 善啓 先生

STATとは画像診断において、診療放射線技師が撮影後の画像初見を医師に伝えることです。本来、読影は放射線科医が行いますが、特に緊急性が高い場合は、最初に画像を目にする診療放射線技師が初見を判断し医師へ報告することで、より早い診断や治療に繋がります。この対応の早さが、患者の生死を分ける場面もあるでしょう。今後より多くの医療機関でSTATが導入されることで、医療現場において迅速かつ正確な診断と治療のための重要なツールとなることが予想されます。しかしながらまだ浸透が浅く、STATを導入したいがその方法が分からずという声を多く聞きます。今回、STATの学習方法と導入方法を中心に詳しく解説していただきます。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2024年3月8日（金）19時00分～20時30分

開催方式：Web配信（Zoom）

受講料：無料

定員：80名（先着順）

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

申込締切日：2024年2月29日（木）

問い合わせ：第9地区委員長 西郷洋子 E-Mail：area09@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 5

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ <https://www.tart.jp/> には各地区的表が掲載されています。

“当会の概要”から“支部・地区一覧表”をお選びください。

The screenshot shows the homepage of the Tart website. At the top, there is a navigation bar with links for '一般の方へ', '当会の概要', '入会案内・各種手続き', '研修会・イベント情報', '求人情報', and 'お問い合わせ'. Below the navigation bar is a large image of a medical professional's hands working on a patient. Underneath the image, there is a breadcrumb trail: 'HOME > 当会の概要 > 支部・地区一覧表'. A large arrow points down to the 'Branches and Region Catalog' section. This section contains a table with three rows:

城東支部	第1地区	千代田区
	第2地区	中央区、台東区
	第7地区	墨田区、江戸川区、江東区

Each row has a '地区紹介' button with a PDF icon next to it. A callout box with an arrow points to the '地区紹介' button for the third row. Another arrow points from the bottom right towards a large button labeled '地区紹介PDF'.

また、“地区紹介PDF”では各地区的特色や活動を写真入りで紹介しています。
こちらもぜひご覧ください。

情報委員会

東京都功労者表彰



山王病院放射線室 室長

しのはら けんいち
篠原 健一

昭和34年11月26日生（64歳）

経歴

昭和56年3月 城西放射線技術専門学校 卒業

職歴

昭和53年4月	東京医学検査研究所	入職
昭和60年2月	同	退職
昭和60年3月	河北総合病院画像診断部	入職
令和1年12月	同	退職
令和2年4月	山王病院放射線室	入職
	現在に至る	

団体歴

平成5年4月～平成13年3月 社団法人東京都放射線技師会 地区委員
平成13年4月～平成17年3月 社団法人東京都放射線技師会 理事（涉外担当）
平成17年4月～平成23年3月 社団法人東京都放射線技師会 理事（総務担当）
平成23年4月～令和4年6月 公益社団法人東京都放射線技師会 会長
平成26年6月～令和4年6月 公益社団法人日本診療放射線技師会 理事

賞罰歴

平成13年6月 杉並救急業務連絡協議会感謝状
平成14年5月 公益社団法人東京都放射線技師会功労賞
平成22年5月 東京都福祉保健局長感謝状
平成24年9月 公益社団法人日本診療放射線技師会永年勤続表彰
平成29年6月 厚生労働大臣表彰
令和5年9月 公益社団法人日本診療放射線技師会功労表彰

東京都功労者表彰にあたり

篠原健一

この度、東京都診療放射線技師会の推薦により、10月1日（都民の日）付けにて、小池百合子都知事より東京都功労者表彰を受賞致しました。江田会長、高野理事（渉外）をはじめ、現役員・表彰委員の皆さん、任期中にご一緒させていただいた元役員・諸先輩の皆さん、そして会員の皆さんに心より御礼申し上げます。

診療放射線技師になるために学んだ母校の校訓は「報恩感謝」でありました。以来、座右としてまいりました。自分で言うのもおこがましいことではありますが、“感謝”的気持ちは忘れたことはないと思っております。私自身の功績というより、ご指導をいただき、ご協力をいただき、一緒にやってきた皆々様方のご功績が評価されたものと思っております。

しかしながら“報恩”についてはまだまだと思っております。残された人生はそれほど長くはありませんが、斯界の発展に少しでもお役に立てますよう余命を過ごしたいと思っております。

東京都診療放射線技師会の一層の発展並びに国民医療への貢献と皆々様方のご健勝を祈念申し上げ、御礼のご挨拶とさせていただきます。

篠原健一顧問の東京都功労者表彰受賞への祝辞

会長 江田哲男

この度、本会顧問の篠原健一様が本会推薦により、令和5年10月2日に東京都功労者表彰を受賞されましたことをご報告するとともに、心よりお祝い申し上げます。また、今回の受賞におきましては、本会会員にとっても大変誇りに感じるところです。

篠原様は平成5年から第10地区にて8年間、委員としてご活躍され、平成13年から渉外担当の理事に就任致しました。平成17年から総務担当理事に就任し、平成23年から令和4年まで本会の会長として6期11年間という長きにわたりご尽力いただきました。また、平成26年から令和4年まで公益社団法人日本診療放射線技師会の地域理事に就任致しました。令和元年には関東甲信越学術大会大会長、令和3年には第37回日本診療放射線技師学術大会長として組織をまとめ、学術大会を成功裡に導きました。

このように、この度の篠原様のご受賞は、診療放射線技師としてのご活躍が都民に対し大きく寄与されたことが高く評価されたものと考えます。今後も篠原様の益々のご健勝をお祈りするとともに今後も本会への更なるご指導を賜りますようお願い申し上げます。

技師会に入るなら今がチャンス！

令和5,6年度に限り

新入会（新卒、既卒を問わず）無料キャンペーン



東京都診療放射線技師会

新卒・既卒問わず会費

5,000円



必要となる技師会費は

日本診療放射線技師会(JART) + 東京都診療放射線技師会(TART)

お得！

たとえば、技師免許取得年度に入会する者

JART（初年度会費5,000円+ 入会費無料）

+ TART（~~5,000円~~ 今だけ0円 = 5,000円）

JART年会費 5,000円のみでOK！

まだまだお得な情報が沢山！ 詳細はこちら→



HPへGo!



公益社団法人 東京都診療放射線技師会

誌上

消化管造影検査

講座

第5部 | 大腸・注腸X線検査

第20回

～大腸憩室について③～

みさと健和病院 安藤 健一

これまで消化管造影検査連載企画では、上部消化管X線検査について、X線TV装置の機器精度管理について、食道・胃・小腸・大腸の症例について連載してきました。

そして現在は『大腸・注腸X線検査』について連載させていただいております。

新シリーズでは、これまで大腸の解剖生理・注腸X線検査の前処置・撮影法・画像評価法、番外編として硫酸バリウム製剤について、そして臨床画像・臨床症例について、取り上げてきました。引き続きどうぞよろしくお願ひ致します。

前回までのおさらい

大腸憩室は、結腸の粘膜および粘膜下層が結腸の固有筋層を越えて突出した袋状の構造であり、腸管の全ての層を備えていないことから、仮性憩室とみなされます。

組織学的には、固有筋層が途絶または固有筋層を有さず袋状に突出した状態です（図1）。

日常臨床でよく目にする典型的な大腸憩室の画

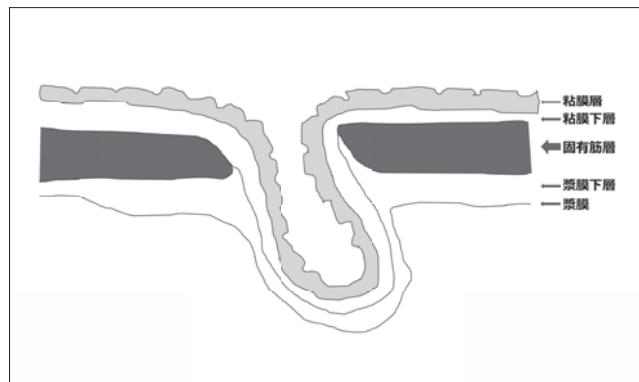


図1

像を供覧します（図2～図4）。

典型的な大腸憩室は、図2・図3のように単発より複数の憩室が散見されるパターンが多く、また図4のように沢山の憩室が密集した状態の多発憩室として認められることもよくあります。

大腸憩室の好発部位は、S状結腸（左側結腸）や上行結腸（右側結腸）とされ、一般的に高齢者・欧米人ではS状結腸に多く、若年者（40歳代～）・日本人では上行結腸に多いとされます。

大腸憩室自体は通常は無症状です。問題となるのは、高度な狭窄を伴う腸閉塞を合併した場合、

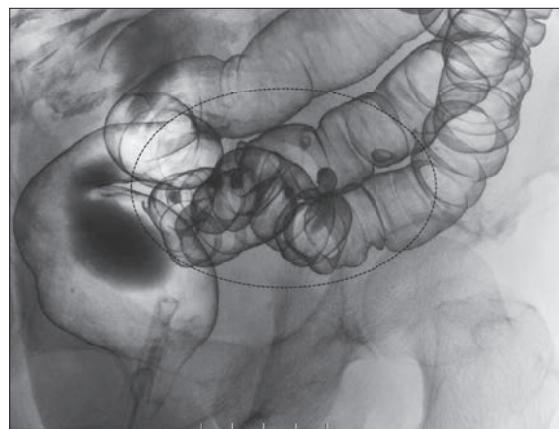


図2

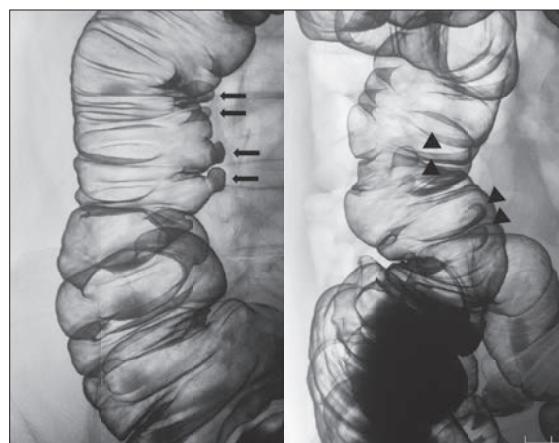


図3



図4

炎症を起こしたとき（憩室炎）や出血したとき（憩室出血）です。

前回は、大腸憩室に起因した合併症を併発した症例を提示させていただきました。

狭窄を伴う憩室炎の症例

図5の圧迫スポット撮影にて、S状結腸の病変部をよく観察してみると、大小不動・歪な形の憩室を認めますが、粘膜の不整や顆粒状変化、口側・肛門側ともに結節状の周堤様隆起等の腫瘍性病変を示唆する所見を認めません。以上のことより、憩室炎または憩室炎後による腸管の伸展不良・狭小化によるS状結腸狭窄と考えられます。

臨床的にもう1点大事な事として、内視鏡が通過しない場合でも、代替検査として、注腸X線検査にて深部結腸を正確にスクリーニングすることが重要となります（詳細は前号の症例画像を参照）。



図5

瘻孔形成を伴う憩室炎の症例

図6～図10の拡大画像でみると、漏れ出た（リーク）様な造影剤は腹腔内に漏れたのではなく（いわゆる穿孔ではなく）、被包化されており、瘻孔を形成しているものと考えられます。これらを検査中の透視化において迅速に予測・判断することも重要となります。

瘻孔形成については、注腸X線検査画像より、直腸S状部とS状結腸との明らかな瘻孔形成と判断することができ、また隣接他臓器（膀胱）との瘻孔形成も疑うべき所見です。

MRIの冠状断像では、著明な引きつれ所見、腸管と膀胱の瘻孔化の所見を認めます（図11）。

外科的⼿術にて切除され、最終診断は、画像診断と同様に、憩室炎による結腸膀胱瘻と診断されました。

微小穿孔を伴う憩室炎の症例

図12～図13の拡大画像は、注腸X線検査画像における、憩室炎によるmicroperforation（微小穿孔）の瘢痕所見です。

単純CT冠状断画像において、左側結腸に憩室炎によるものと思われる、炎症所見、脂肪織の濃度上昇とExtraluminal Air（腸管外ガス）を認めます。憩室炎によるmicroperforation（微小穿孔）が疑われる所見です（図14）。

大腸憩室は、日常臨床においてよく遭遇する所見・画像です。そして憩室そのものは、臨床的に特に問題とならない場合が多いです。しかしながら、時として憩室炎や急性腹症の原因になることもあります。注腸X線検査では、憩室の数や分布・形などを客観的に評価することができます。

今回は、大腸憩室と腫瘍に関連した症例を提示させていただきます。

1

症例① 大腸腫瘍？ vs 大腸憩室炎？

80歳代女性。腹痛・腹部膨満感にて救急外来受診。腹部単純X線検査にて大腸ニボー像を認め、精査加療目的にて入院となりました。大腸閉塞の原因検索目的で大腸内視鏡検査を施行しましたが、内視鏡挿入困難で閉塞部位の詳細を確認できませんでした。内視鏡検査当日にガストログラ

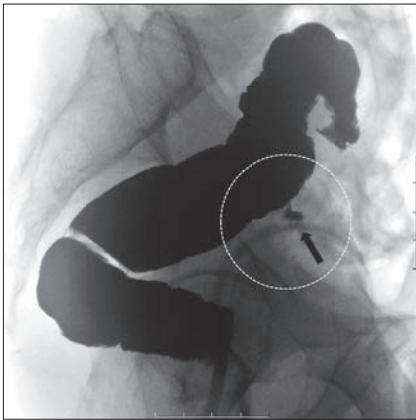


図6

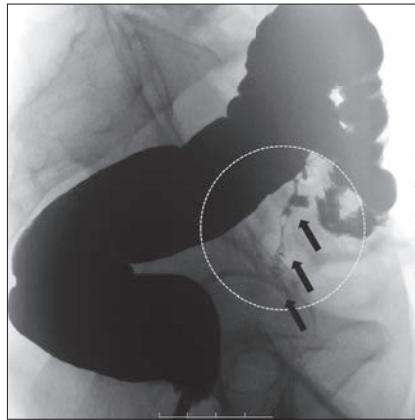


図7

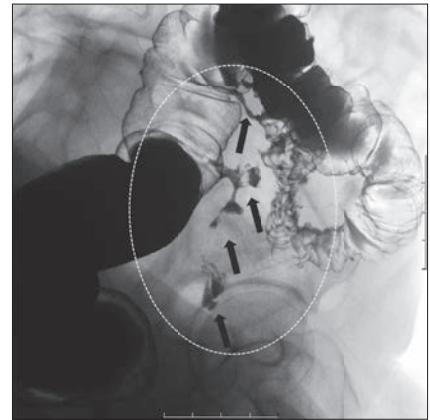


図8

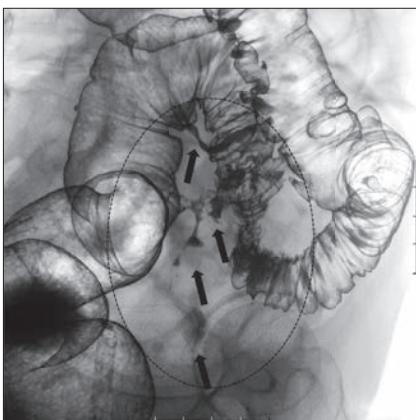


図9



図10

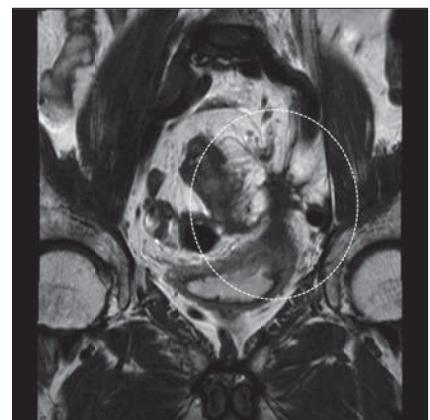


図11



図12



図13



図14

フィンによる注腸X線検査を施行しました（図15～図23）。

S状結腸に憩室が多発して認められ、腸管の伸展が不良。これらの影響で内視鏡通過が困難だったと考えられます。その口側に高度な狭窄、いわゆるアップルコアサインを認め、これが大腸閉塞の原因と考えられます。これらの所見より、伸展不良を伴う多発憩室の影響で、経肛門的イレウス管や大腸ステントでの減圧は避け、経鼻

的イレウス管を挿入して、絶食・補液にて腸閉塞に対する減圧を行いました。

数日の経過の後、腸閉塞改善傾向後に、狭窄・閉塞部の詳細を精査するため再度、ガストロ注腸X線検査を施行しました（図24～図33）。

S状結腸に伸展不良を伴う、多発憩室を認めます。その口側SDJ近傍に、約35mm長の高度な全周性狭窄を認めます。狭窄部病変口側の辺縁部に上皮性の変化・腫瘍性変化を認めません。憩室炎



図15



図16



図17



図18



図19



図20



図21



図22



図23



図24

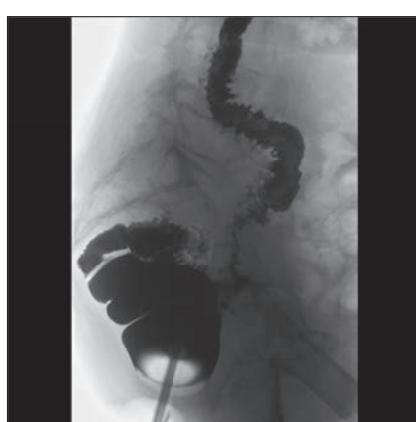


図25



図26

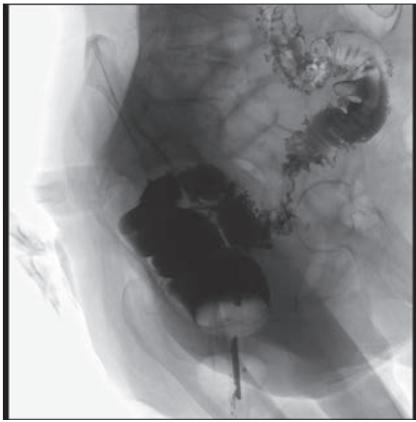


図27



図28



図29

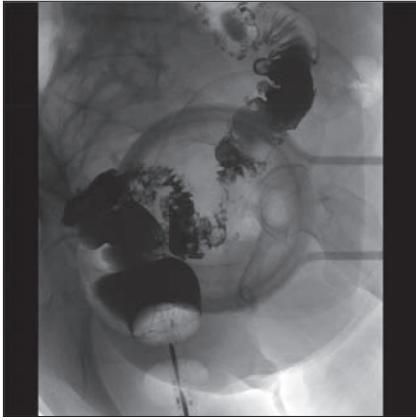


図30



図31

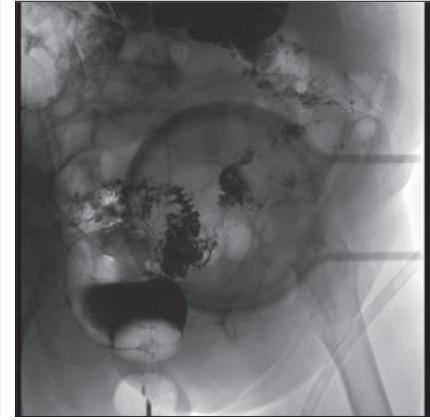


図32

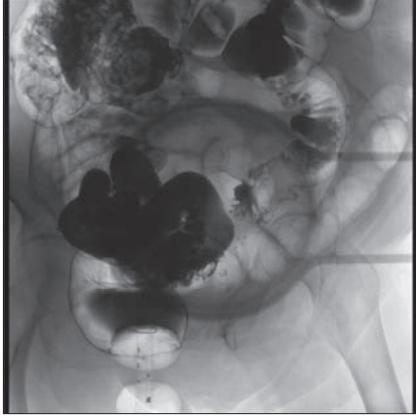


図33

の線維化による器質的な高度狭窄を疑います。口側への造影剤の流れは認められ、下行結腸にも多発憩室がみられます (S/O diverticulitis R/O tumor (Ca))。

注腸X線検査の画像上は、大腸憩室炎による高度狭窄を第一に考え、鑑別としては大腸腫瘍（癌）があげられます。

高度狭窄の解除を目的に外科的切除を施行され、病理組織学的にdiverticulitis（大腸憩室炎）の最終診断となりました。

2 | 症例②

70歳代男性。主訴は特になし。便潜血陽性にて精査。

注腸X線検査のルーチン撮影画像を提示します（図34～図51）。

S状結腸から盲腸に至るまで、全結腸に憩室が多発して認められます。この中に約30mm前後の大腸癌の所見が存在しておりましたが、お気づきになられましたでしょうか？

次に病変部の追加撮影画像を提示します（図52～図56）。

S状結腸の中央部後壁に、はじき像を呈する隆起性病変を認めます。大きさは約30mmで立ち上がりは明瞭（広基性）で、辺縁は分葉状、隆起表面は結節状で、明らかなたまり像を呈する陥凹所見は認めません。深達度については、くびれや茎はなく広基性で、側面に近い像にてやや硬化所見を認めることからSMと考えます。



図34



図35

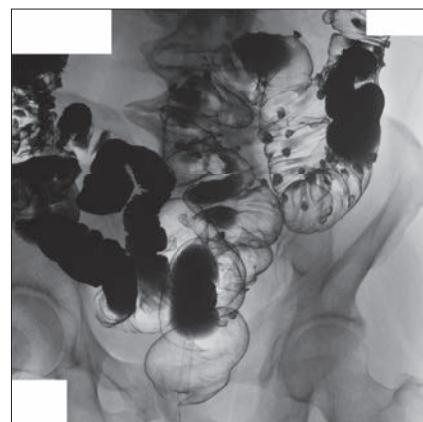


図36

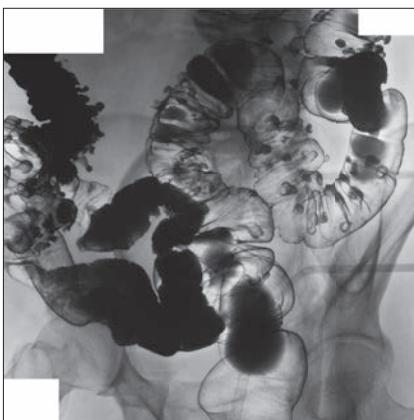


図37

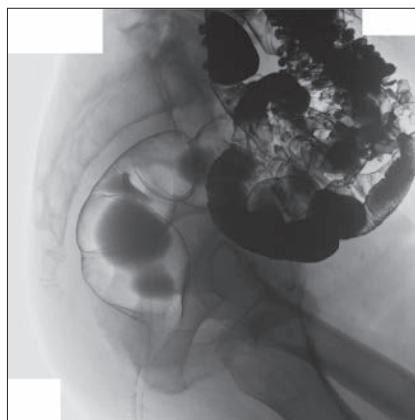


図38

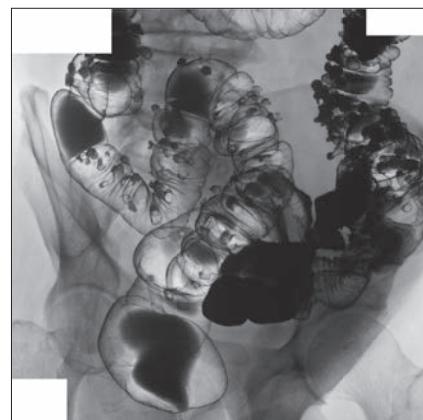


図39

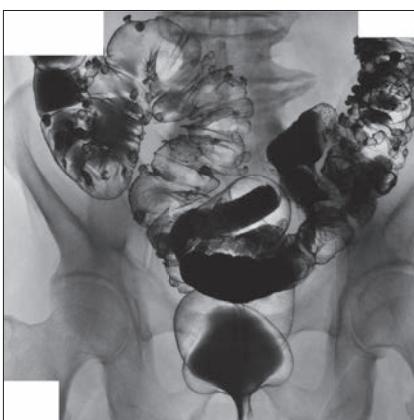


図40

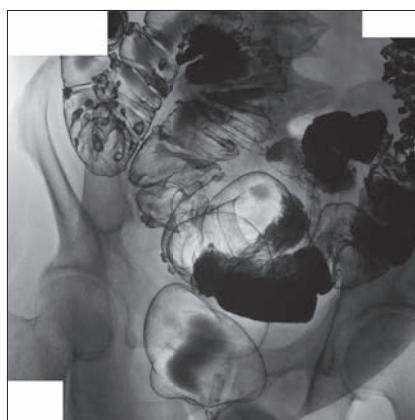


図41

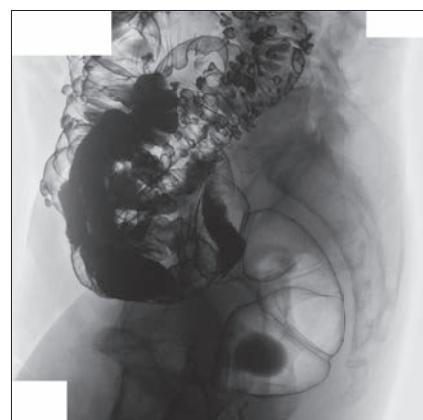


図42

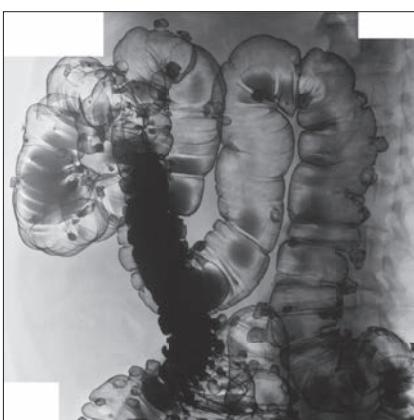


図43

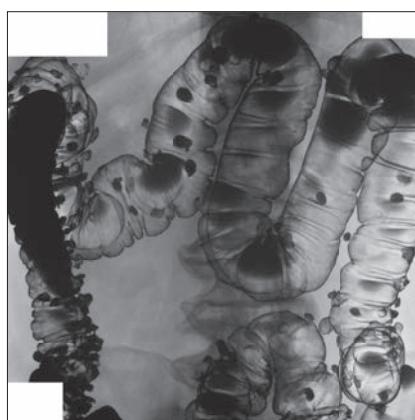


図44

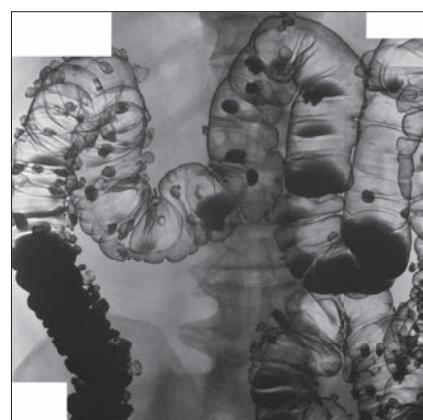


図45



図46

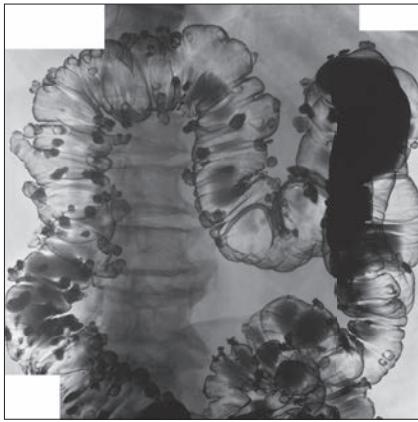


図47



図48

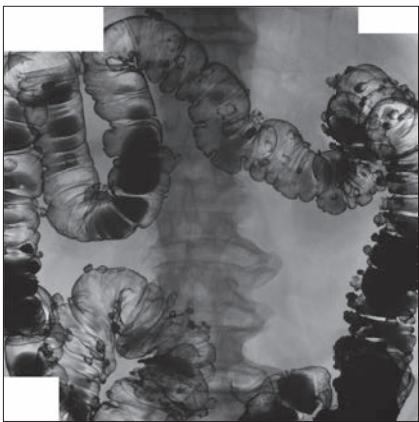


図49

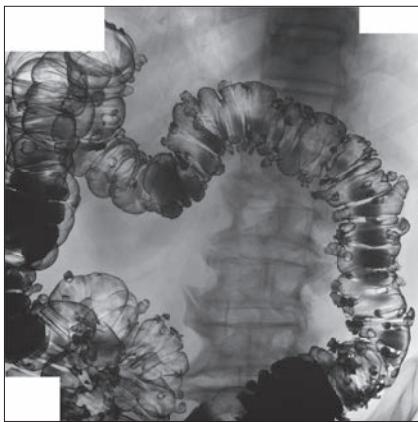


図50

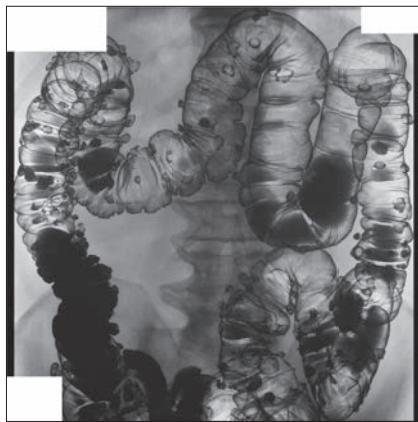


図51



図52



図53

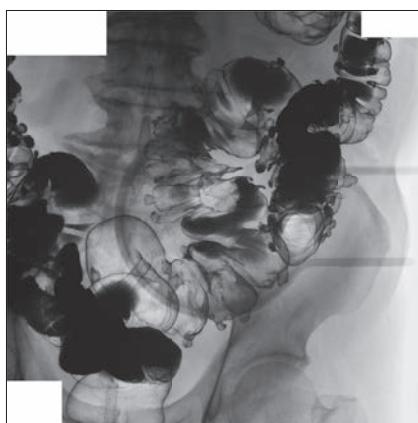


図54

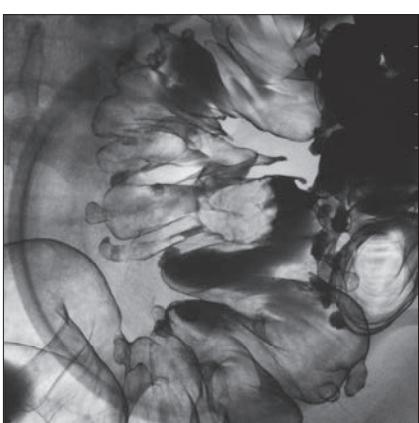


図55

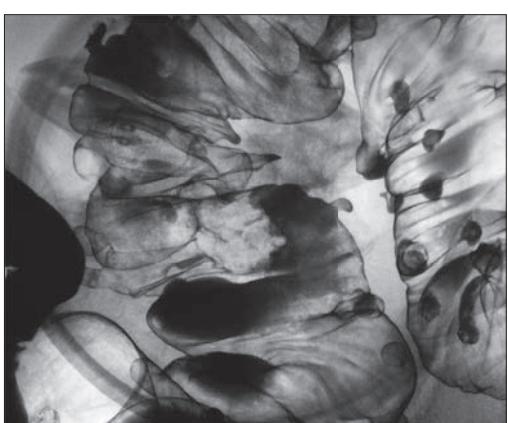


図56

注腸X線検査では、肉眼型0-II a、深達度SMの早期大腸癌を考えます。

内視鏡像でも約30mmの隆起性病変で明らかな陥凹所見は認めません（図57）。

腹腔鏡下S状結腸切除術が施行され、病理組織診断では、組織型は中分化型腺癌で、肉眼型は0-II a、深達度はSM2、早期大腸癌でした（図58）。

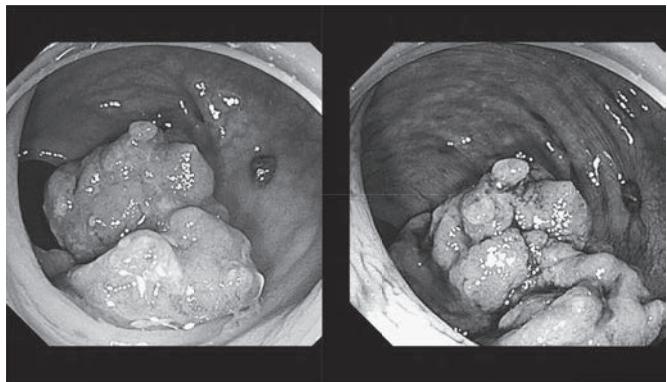


図57

今回の症例のように、背景に多発憩室がある場合は、重要所見に気づきづらくなることがあるので、注意深い透視観察、十分な腸管拡張、良好な付着での二重造影像が重要となります。所見がある場合は、再現性のある説得力のある追加撮影をする必要があります（図59）。



図58

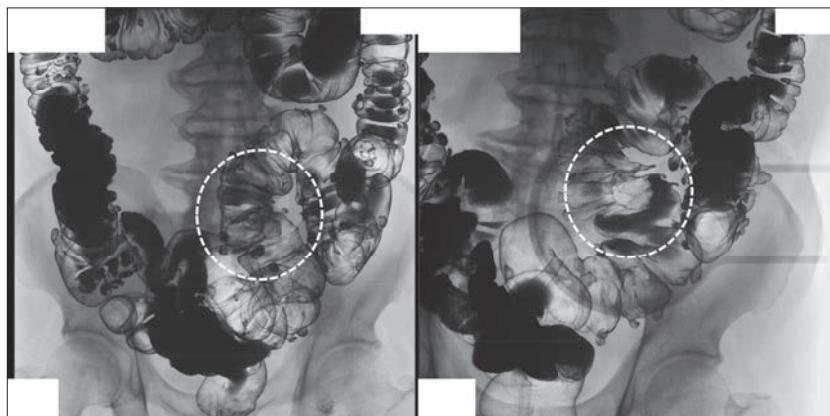


図59

3 | おわりに

大腸憩室について、3回にわたり、その概念や発生機序、合併症についてお話しさせていただきました。また症例については、単純な大腸憩室症例、合併症を伴う大腸憩室炎症例、腫瘍との鑑別が必要な憩室炎症例、多発憩室内に存在した大腸癌症例について提示させていただきました。

大腸憩室自体は、日常臨床で良く目にし、形態的・器質的な変化で、臨床的に特に問題にならないケースがほとんどですが、時として、炎症を引

き起こし大腸憩室炎に至り、急性腹症や合併症を引き起こし臨床的に問題になるケースもあります。

また、多発して狭窄による通過障害や憩室に気をとられて（隠されて）他の腫瘍性病変を見落してしまうこともあります。

これらを念頭に入れながら、丁寧な撮影や注意深い読影を心掛ける必要があります。

参考文献

- 大腸の憩室症：MSDマニュアル家庭版
(msdmanuals.com)

～概論～

杏林大学保健学部 診療放射線技術学科 松友 紀和

1 | はじめに

現在、日本の核医学診療施設は、1,208施設（PET検査を含む）で、そのうち核医学治療を実施しているのは391施設となっています¹⁾（図1）。そのため、本誌を手にされている方の多くは、核医学検査や核医学治療のない施設に勤務されていると思います。近年、がん治療のひとつである核医学治療の適応疾患が増加しており、前立腺がんや神経内分泌腫瘍など、さまざまがんに対して広く用いられるようになってきました。また、核医学治療を推進するための体制整備や輸入に頼っている医療用アイソトープの国産化についてなどが国会等で議論されており、コロナ禍の影響を受けて正確に評価できない年もありますが、核医学治療の件数は増加傾向にあります（図2）。このように核医学治療への注目は高まっていますが、核医学をされていない（核医学のない施設に勤務する）診療放射線技師にとっては未知な情報が多くなっているのが現状だと思います。「個別化医療（テーラーメイド治療、プレシジョン医療）」や「セラノスティクス（Theranostics）」、「ドシメトリ

（Dosimetry）」など10年以上前に養成校を卒業された方にとって、座学でも学ばなかった核医学治療に関する用語が今や普通にマスメディアで用いられています。この連載では、普段核医学検査に携わることのない診療放射線技師を対象に、核医学治療に関する知識のアップデートとともに、患者さんや家族から質問されたときに答えられる基本的な内容を提示したいと思います。

2 | 核医学治療とは

放射線治療は放射線が持つDNA鎖への電離作用と、正常細胞と異常細胞が受けるダメージの違いを利用して方法で、外部照射と内部照射に大別されます。さらに内部照射は密封小線源治療と非密封小線源治療に分けられ、核医学治療は非密封小線源治療に分類されます。核医学治療はRI内用療法やアイソトープ治療とも呼ばれます（RI内用療法やアイソトープ治療で習った方が多いのではないかでしょうか）、学会などでは核医学治療と呼ばれることが多いため、本稿は「核医学治療」で進めていきたいと思います。

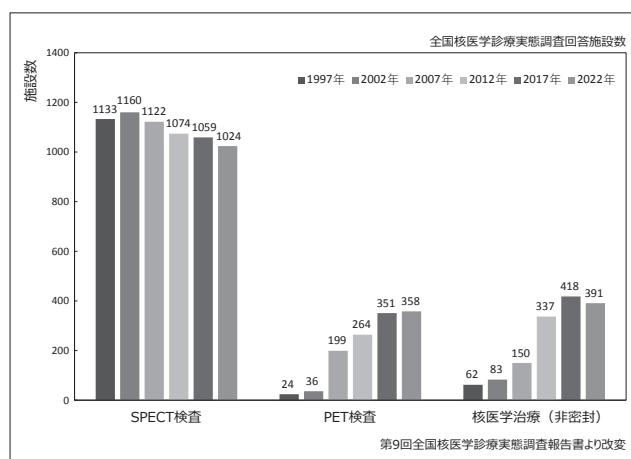


図1 核医学検査実施 施設数

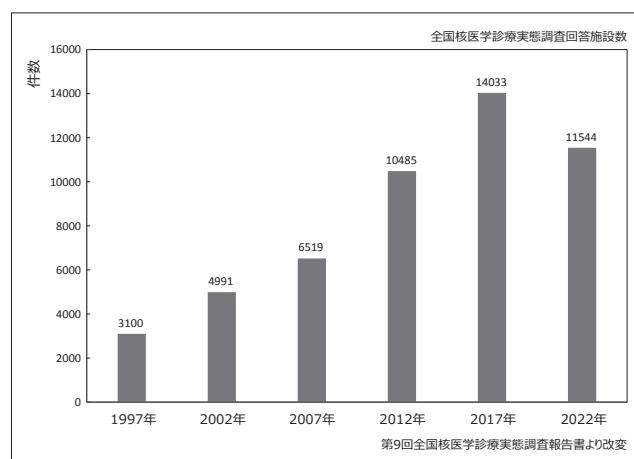


図2 核医学治療件数（年間）

分類	名称	使用する放射線	照射方法（名称）
外部照射	放射線治療	X線、 γ 線	一般的な高エネルギー照射、三次元原体照射 強度変調放射線治療（IMRT）、画像誘導放射線治療（IGRT） 定位放射線治療（SRT）、定位手術的照射（SRS）
	電子線治療	電子線	一般的な高エネルギー照射
	粒子線治療	陽子線、重粒子線	陽子線治療、重粒子線治療
内部照射	中性子捕獲療法	中性子線	ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）
	非密封放射性同位元素による治療	α 線、 β 線など	核医学治療・内用療法
	密封小線源治療	X線、 β 線、 γ 線など	組織内照射、腔内照射

図3 放射線治療の種類

核医学治療は、放射性同位元素を標識した薬剤（放射性医薬品）を経口または静脈注射で投与し、ターゲットとなる臓器やがんに放射線を当てる（照射する）治療です。余談ですが、診療放射線技師法改正により診断用放射性医薬品の静脈投与は可能になりましたが、治療用放射性医薬品の静脈投与はできません。ただし、カプセル状の治療用放射性医薬品の経口投与は可能です。放射性医薬品にはターゲットへ特異的に集積する性質が与えられているため、局所的だけでなく、広範囲に分布する多発病変に有効な全身治療と言えます。

図3に放射線治療の種類についてまとめました。リニアックなどの放射線治療ではX線や γ 線が使われるのに対して、核医学治療では β 線や α 線を放出する核種が用いられます。ここで特筆すべきは α 線を放出する核種が使えるようになったことです。日本では2016年から α 線放出核種(²²³Ra)を用いた²²³RaCl₂（塩化ラジウム）が去勢抵抗性前立腺がんの骨転移に対する治療薬として承認されました。 α 線の特徴は飛程が短く、線エネルギー付与（LET）が高いことです。 β 線は低LET放射線ですが、 α 線は高LET放射線でありDNA二重鎖切断を起こして損傷の修復エラーや修復不能が起こるため、生物学的効果比（RBE）が高くなります。また酸素増感比（OER）が小さいため、放射線感受性が低い低酸素細胞にも有効です。さらに飛程が短いということは、正常組織の不要な被ばくを抑え腫瘍に効率よく線量を集中

させることができます。このように α 線は今後の核医学治療を担うものであり、 α 線放出核種を用いた治療薬は、核医学治療の適応を広げるとともに、核医学治療をより低侵襲性ながん治療にする可能性を持っています。

3 | 核医学治療の現在

核医学治療の歴史は古く、日本では1952年頃に始まったとされていますが、約50年間は甲状腺機能亢進症や甲状腺がんに対する¹³¹I（ β 線、半減期8.0日）を用いた核医学治療がほとんどでした。甲状腺がんに対する核医学治療では、核医学専用の治療病室（放射線治療病室）が必要となります。そのため、核医学検査は行っていても核医学治療をできない施設が多く、また放射線管理の観点から1ベッド当たりの年間治療数は25例程度と不採算部門と言わざるを得ませんでした。さらに2003年のDPC制度や2004年の独立行政法人制度の導入により不採算部門である治療病室の増加は見込めず、逆に廃止が進みました（図4）。その結果、治療を希望する患者数に対して治療病室が不足し、甲状腺の全摘出術を受けてから核医学治療を行うまでの待機時間延長が問題となっていました。

絹谷らは²⁾甲状腺全摘出術から核医学治療を行うまでに6か月以上要した患者が全体の84.4%に

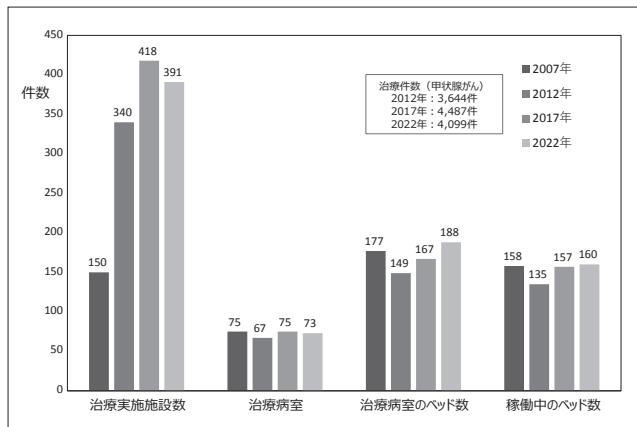


図4 甲状腺癌に対する¹³¹I治療の現状

及んだと報告しています。また東らは³⁾ 甲状腺全摘出術から6か月以内に核医学治療を行わなければ死亡リスクが4倍以上になることを報告しています。このような背景から核医学治療を取り巻く環境は大きな社会問題として捉えられ、政府の「がん対策推進基本計画」においても重点的に取り組むべき課題として、さまざまなアクションプランが進められています。

アメリカやヨーロッパなどの諸外国と比較すると日本の核医学治療の普及は遅れていると言わざるを得ませんが、それでもさまざまな新しい治療用放射性医薬品が承認され、新規の治療用放射性医薬品の開発も進められています。また、核医学治療後の患者の退出基準が明確化され、放射線治療病室を必要としない外来（通常のRI検査室）での治療も可能となってきています。核医学治療の発展には国としての取り組みが必要ですが、患者に適切な核医学治療を届けるために診療放射線技師の専門知識や技術をしっかりとブラッシュアップしていく必要があると思います。

4 | 核医学治療の種類

現在、日本で保険診療として行われている核医学治療には以下のものがあります。

- ヨウ素 (¹³¹I) によるバセドウ病に対する治療
- ヨウ素 (¹³¹I) による分化型甲状腺がんに対する治療、アブレーション
- イットリウム (⁹⁰Y) を用いた再発・難治性低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫の治療（放射免疫療法）

- ラジウム (²²³Ra) を用いた去勢抵抗性前立腺がんの骨転移に対する治療
- ルテチウム (¹⁷⁷Lu) による神経内分泌腫瘍に対する治療
- ヨウ素 (¹³¹I) を用いた褐色細胞腫・パラガングリオーマに対する治療

この他に2007年に承認されながらも2019年に製造販売中止となったストロンチウム (⁸⁹Sr) を用いた転移性骨腫瘍に対する疼痛緩和療法があります。図5に各治療のポイントをまとめていますが、詳細については今後の連載で解説していきます。また、これから臨床応用が期待される放射性核種や放射性医薬品についても解説していく予定です。

5 | 安全管理

核医学検査では γ 線を放出する比較的短半減期の放射性核種を使用するのに対して、核医学治療では β 線や α 線を取り扱うことになります。また、核医学治療で用いる放射性核種は半減期が診断用よりも長く、放射能量も多くなります。そのため、放射線管理に専門的な知識が必要となります。核医学治療では、治療ごとに関連学会から適正使用マニュアルが作成されており、**放射性同位元素等の規制に関する法律**（RI規制法、RI法）や適性使用マニュアルに従って放射線管理を行う必要があります。

図6に関連学会が作成した適正使用マニュアルの一覧を示します。ここで詳細な説明は行いませんが、興味のある方はインターネットで検索すれば閲覧可能です。核医学治療は医師や診療放射線技師、薬剤師、看護師、医学物理士で行いますが、核医学治療ごとに安全管理講習会を受講する必要があります。核医学治療の安全管理責任者や安全管理担当者は、安全管理講習会を受けた方の中から選任され、安全管理体制の構築や核医学治療に従事するスタッフの教育訓練を実施しなければなりません。

前述したように核医学治療は外来または入院で行われます。ここでいう外来は医療法で定められた「診療用RI施設（いわゆるRI検査室）」、入院は「放射線治療病室」となります。改めて図5を見て

核医学治療	核種	医薬品	和名	商品名	対象	病室
バセドウ病に対する治療	^{131}I	Na^{131}I	ヨウ化ナトリウム	ヨウ化ナトリウムカプセル	バセドウ病	外来 (500 MBq以下の場合)
分化型甲状腺がんに対する治療	^{131}I	Na^{131}I	ヨウ化ナトリウム	ヨウ化ナトリウムカプセル	甲状腺分化がん	入院 (治療病室)
甲状腺全摘後の残存組織に対するアブレーション	^{131}I	Na^{131}I	ヨウ化ナトリウム	ヨウ化ナトリウムカプセル	甲状腺全摘後の残存組織の破壊	外来
骨転移に対する疼痛緩和治療	^{89}Sr	$^{89}\text{SrCl}_2$	塩化ストロンチウム	メストロン®注	骨転移部位の疼痛緩和	外来
再発・難治性低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫の治療(放射免疫療法)	^{90}Y	$^{90}\text{Y}-\text{Ibritumomab Tiuxetan}$	イットリウムイブリツモマブチウキセタン	ゼヴァリン®イットリウム	低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫	入院 (一般病室)
骨転移に対する治療	^{223}Ra	$^{223}\text{RaCl}_2$	塩化ラジウム	ゾーフィゴ®静注	去勢抵抗性前立腺がんの骨転移	外来
神経内分泌腫瘍に対する治療(ペプチド受容体放射性核種療法)	^{177}Lu	$^{177}\text{Lu-DOTATATE}$	ルテチウムオキソドトレオチド	ルタテラ®静注	神経内分泌腫瘍	入院 (治療病室または特別措置病室) *当日に退出基準を満たせば必ずしも入院は必要ありません
褐色細胞腫バラングリオーマに対する治療	^{131}I	$^{131}\text{I-MIBG}$	3-ヨードベンジルガニジン	ライアットMIBG-I-131静注	褐色細胞腫バラングリオーマ	入院 (治療病室)

図5 核医学治療のポイント

放射性ヨウ素内用療法に関するガイドライン 第6版	日本核医学会分科会 腫瘍・免疫核医学研究会 甲状腺RI治療委員会	2018年
放射性ヨウ化(I-131)ナトリウムカプセルを用いた内用療法の適正使用マニュアル 改訂第3版	日本医学放射線学会、日本核医学会、日本内分泌学会 日本甲状腺学会、日本内分泌外科学会、日本甲状腺外科学会 日本核医学技術学会	2013年
残存甲状腺破壊を目的としたI-131(1,110MBq)による外来治療実施要綱 改訂第3版	日本医学放射線学会、日本核医学会、日本内分泌学会 日本甲状腺学会、日本内分泌外科学会、日本甲状腺外科学会 日本核医学技術学会	2013年
有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム-89治療の適正使用マニュアル 第5版	日本核医学会、日本医学放射線学会、日本放射線腫瘍学会 日本緩和医療学会	2015年
イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の適正使用マニュアル 第3版	日本医学放射線学会、日本核医学会、日本血液学会 日本放射線腫瘍学会	2016年
塩化ラジウム(Ra-223)注射液を用いる内用療法の適正使用マニュアル 第1版	日本医学放射線学会、日本核医学会、日本泌尿器科学会 日本放射線技術学会、日本放射線腫瘍学会	2017年
Lu-177-DOTA-TATEの適正使用に関する報告書と適正使用マニュアル(第2版)	日本核医学会承認	2016年
アスタチン化ナトリウム注射液を用いる核医学治療の治験適正使用マニュアル(第1版)	日本核医学会承認	2021年

図6 主な適正使用マニュアル

いただくと外来で実施できる治療が多いことに気が付くと思います。これは核医学治療をできるだけ多くの患者に届けるためですが、核医学治療を安全に実施するには、第三者（一般公衆および介護者）の被ばくを考慮するために核医学治療を受けた患者の管理が大切となります。厚生労働省が示す退出基準は、核医学治療を受けた患者からの被ばくが一般公衆および介護者の線量限度や線量拘束値を下回るように設定されています。この退出基準は核医学治療ごとに示されており、退出基準を満たしている患者については特別な管理を必要としません。したがって患者もその家族も普段と変わらない日常生活を送ってもらってかまいませんが、不必要的被ばくをできるだけ少なくすることは診療放射線技師の責務のひとつです。そのため、核医学治療を実施する際には書面やパンフレット⁴⁾を使って日常生活の注意点について指導をしっかりとします。

これまでβ線が主流だった核医学治療にα線が加わりました。もちろん、α線は飛程が短いため第三者への被ばくは低くなりますが、やはり「被ばく＝怖い」と思う方は多いと思います。診療放射線技師は放射線のスペシャリストとして、使用する放射性核種の種類や量、治療法に応じた安全管理を正しく理解し、多くの患者に世界水準の核医学治療を届ける必要があると思います。

6 | まとめ

本稿では、連載企画「核医学治療Update」のスタートとして核医学治療の概論を述べさせていただきました。核医学治療はこの10年で大きく変わり、これからのがん診療や先進医療でさらに需要が高まっていくと思われます。この連載が皆さまの知識のアップデートや核医学診療に興味を持つきっかけとなれば幸いです。

7 | 用語

去勢抵抗性前立腺がん：ホルモン療法により、男性ホルモンの分泌が抑えられているにもかかわ

らず悪化する前立腺がんのこと。

生物学的効果比（RBE）：被ばくの影響は同じ吸

収線量であっても、放射線の種類やエネルギーによって異なります。この違いを比で表したもののが生物学的効果比（RBE）になります。X線やγ線、β線は1で、α線は20となります。

酸素増感比（OER）：放射線の作用は酸素の有無によって異なります。酸素増感比（OER）は酸素効果の大きさを表す指標で、酸素のない条件に対して酸素のある条件で同じ効果を生じるのに必要な線量の比で表されます。

放射性同位元素等の規制に関する法律：放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律（放射線障害防止法、障防法）が改訂され、放射性同位元素等の規制に関する法律になりました（2019年）。核セキュリティの強化による特定放射性同位元素の防護が法律の目的に加えられたためです。

線量拘束値：線量限度は複数の線源から個人が受ける被ばくですが、線量拘束値は特定の線源から受ける被ばくの制限値となります。

8 | 参考文献

- 日本アイソトープ協会医学・薬学部会：第9回全国核医学診療実態調査報告書
https://www.jriias.or.jp/pdf/9th_kakuigakujitaityouusa_2023_72_1_49.pdf
- 絹谷清剛：環境改善に向けた活動. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2013; 30: 130-136.
- Higashi T, Nishii R, Yamada S, et al: Delayed initial radioactive iodine therapy resulted in poor survival in patients with metastatic differentiated thyroid carcinoma: a retrospective statistical analysis of 198 cases. J Nucl Med 2011; 52: 683-689. DOI: 10.2967/jnumed.110.081059
- 核医学診療推進国民会議ホームページ：
<https://www.ncnmt.jp/%e6%a0%b8%e5%8c%bb%e5%ad%a6%e6%b2%bb%e7%99%82q-a/>

日本診療放射線技師連盟 2023 No. 11 ニュース (通巻No.91)

連盟活動報告

発行日 令和5年11月28日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL.070-3102-1127 FAX.03-6740-1913

- ① 11月 2日(木) 自民党 予算・税制等に関する政策懇談会に出席
- ② 11月 7日(火) 公明党予算税制等政策懇談会に出席

-
- 政策要望資料
- 1 「報告書管理体制加算」の対象範囲拡大の要望
 - 2 「医療画像表示用ディスプレイの医療機器化と管理」の評価要望
 - 3 「小児等への腹部骨盤部単純X線検査 被ばく説明」の評価要望
 - 4 災害時における診療放射線技師の病院外活動についての要望
 - 5 診療放射線技師定数配置基準の策定の要望
 - 6 在宅医療充実のための体制整備の要望
-

- ③ 11月13日(月) 第5回「ラジエーション知識を普及させ安全利活用を推進する議員連盟」(略称ラジエーション議連)に出席
- ④ 11月15日(水) 全国都道府県(診療)放射線技師会会长・日本診療放射線技師連盟支部長合同会議を開催
- ⑤ 11月18日(土) 第19回中四国医療技術フォーラムにて連盟ブース設置
19日(日)



事務局からのお願い

畠元将吾代議士後援の自民入党は右のQRコードから登録できます。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSc6LOGAou4WExPnK6q_a680kETqv8FyMrjKAQgOvk65t29ANqA/viewform



会員動向

2023年4月～11月期

年月	月末会員数	新入	転入	転出	退会
2022年度末集計	2,448	210	38	31	90
2023年4月	2,477	26	8	3	2
2023年5月	2,512	32	5	1	1
2023年6月	2,549	36	5	1	3
2023年7月	2,584	32	4	1	0
2023年8月	2,606	25	0	1	2
2023年9月	2,620	15	0	0	1
2023年10月	2,642	29	2	4	5
2023年11月	2,652	15	4	4	5

学術講演会・研修会等の開催予定

日時や会場等の詳細につきましては、会誌及びホームページでご案内しますので必ず確認してください。

2023年度

1. 学術研修会

- 第23回メディカルマネジメント研修会 未定
☆第21回ウインターセミナー 2024年2月3日(土)

☆2. 日暮里塾ワンコインセミナー

- 第148回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催 2024年1月10日(水)

3. 集中講習会

- 第13回MRI集中講習会 未定

☆4. 支部研修会

- 城北支部研修会 Web開催 2024年1月26日(金)
多摩支部研修会 Web開催 2024年2月2日(金)
城南支部研修会 Web開催 2024年2月20日(火)

5. 地区研修会

- 第11地区研修会 2024年1月25日(木)
第12地区研修会 Web開催 2024年2月8日(木)
第6地区研修会 Web開催 2024年3月1日(金)
第9地区研修会 Web開催 2024年3月8日(金)

6. 専門部委員会研修会

- 第1回災害対策研修会 2024年3月9日(土)

7. 地球環境保全活動

8. 東放技参加 行政祭り等

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

News

1月号

会長挨拶

ご多忙の中ご参集いただいたことを感謝する。先月の25日に東京都の立入検査が行われた。重大な指摘事項はなかったが、詳細については改めて東京都から正式な文書が届いてから皆さまへ報告させていただく。また、今月はペイシメントケア学術大会が駒澤大学講堂で開催となる。今回の学術大会は公益事業の大きな事業の一つである。本会と学術協定を結んでいるソウル技師会にも参加予定であり、国際的な学術大会となるため、多くの参加者を募りたい。各地区でも広報と参加促進の協力をお願いする。参加人数を把握したいので事前登録を合わせてお願いする。

理事会定数確認

出席：16名、欠席：1名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 江田哲男 会長

・3日のTART役員OB会参加とあるが、こちらについては篠原顧問が発起人となり、以前にTARTで役員をしていた方々でOB会を設立したいと申し出があった。このOB会は、本会の事業ではなく有志の集まりとし、現役役員や会員の方々とOBの方々との親睦を

日 時：2023年11月2日（木）
午後7時00分～8時10分

場 所：インターネット回線上

出席理事：江田哲男、野口幸作、関 真一、鈴木雄一、宇津野俊充、浅沼雅康、高野修彰、竹安直行、市川篤志、小林隆幸、長谷川雅一、原子 満、鮎川幸司、関谷 薫、増田祥代、布川嘉信

出席監事：野田扇三郎、白木 尚

指名出席者：上田万珠代（第4地区委員長）、中田健太（第5地区委員長）、伊佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、大津元春（第8地区委員長）、西郷洋子（第9地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、名古安伸（第11地区委員長）、吉村 良（第12地区委員長）、宮谷勝巳（第14地区委員長）、村山嘉隆（総務委員）、青木 淳（総務委員）、新川翔太（総務委員）

欠席理事：渡辺靖志

欠席監事：なし

議 長：江田哲男（会長）

司 会：関 真一（副会長）

議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

図りながら、将来のTART事業について語り合える環境が設けられるような会にしたいと考えている。

2) 副会長

関 真一 副会長

・10月25日の立入検査前に消防訓練を行った。詳細は資料にあるので確認いただきたい。

野口幸作 副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木雄一 理事

・活動報告書に追加なし。

庶務：宇津野俊充 理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・厚生調査委員会 江田哲男 会長

今年度のアンケート調査を12月1日から開始する予定。テーマに関しては「新卒初任給」となる。方法については昨年同様にハガキにてQRコードにアクセスしていただく形となる。今回は所属長宛になるので会員全員ではないが、会員以外の所属長も対象となるので地区会員の方々にご説明いただき、各施設の所属長に協力要請のご案内をお願いしたい。

5) 各委員会報告

・入会促進委員会 江田哲男 会長

現在の活動内容について、入会促進パンフの作成班、ホームページ入会促進の作成班の2チームに分かれて

取り組んでいる。12月の理事会で進捗状況を報告させていただく。

6) 地区委員会報告

・中田健太 第5地区委員長

29日開催予定だった荒川クリーンエイドは雨のため中止となった。来月の理事会に報告書を提出するので、簡易な報告とさせていただく。

・布川嘉信 第3地区委員長

地区研修会を行ったが、1人の方からURLが届かないというメールを頂いた。今後はリマインドやお送りするURLについての定型文などが必要と検討したので報告させていただく。

→関 真一 副会長：

報告ありがとうございます。今後、検討していきたい。

・宮谷勝巳 第14地区委員長

今月の24日に地区研修会を行うが、参加者が少ないので広報をお願いしたい。

7) 中間監査報告

・野田扇三郎 監事

10月25日に東京都の立入検査時に資料と会計の中間監査を同時に行ったので報告する。

私たち監事は、令和5年4月1日から令和5年9月30日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次の通り報告します。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の施行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討しました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものとみとめます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令

もしくは定款に違反する事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

8) その他

・特になし。

議 事

1) 事業申請について

①第23回合同学術講演会

テーマ：STAT画像報告について

日 時：2023年12月23日(土) 15:00～17:00

場 所：杏林大学（井の頭キャンパス）

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

②第148回日暮里塾ワンコインセミナー（Web開催）

テーマ：学術・教育委員が選んだ発表演題－入会促進－

日 時：2024年1月10日(水) 18:30～20:00

場 所：東京都診療放射線技師会 研修センター

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

③2023年度 城北支部研修会（Web開催）

テーマ：スタッフの不調は「食事」が原因!? 事例から解

説するスタッフの心と体のヘルスケア

置き型社食

日 時：2024年1月26日(金) 19:00～20:30

場 所：Web配信

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

※オフィス名を削除して掲載する

④2023年度 多摩支部研修会（Web開催）

テーマ：小児撮影のいろは

日 時：2024年2月2日(金) 19:00～20:00

場 所：Web配信（TART Zoom使用）

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

⑤第21回ウインターセミナー

テーマ：一般撮影の画像処理と最新情報

日 時：2024年2月3日(土) 15:00～17:00

場 所：東京医科大学病院 講堂

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

⑥2023年度 城南支部研修会（Web開催）

テーマ：「一般撮影を組み立てる」

「放射線被ばく相談員分科会の紹介と活動、最近のトピックス」

日 時：2024年2月20日（火）19:00～21:00

場 所：Web配信（TART Zoom使用）

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

2) SRTA 派遣演題募集に関して

小林隆幸 国際委員長：

例年、ソウル特別市放射線士会との学術協定に基づいて、インターナショナルセッションに演題を出していただいた方に助成をさせていただいている。2023年度のSRTAは2024年の3月21日～24日までの4日間、インターナショナルセッションについては3月23日に開催予定。インターナショナルセッションでの発表演題を募集する。本日承認をいただけたら12月号の会誌に募集要項を掲載したい。

募集方法に関しては、演題抄録を所定のメールアドレスに送信していただき、学術、教育委員会と国際委員会で審査をして、理事会にて承認いただいてから派遣会員を決定したい。周りの方への広報もお願いしたい。

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

3) 新入退会について

10月：新入会29名、転入2名、転出4名、退会5名

上記について審議した。

【承認：16名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第6地区：

2024年度の事業計画申請について項目が多岐にわたるが、申請を行えば受領することができるのか。また地区活性化資金との棲み分けもしくは地区活性化資金に置き換わるものか。以上について質問させていただきます。

関 真一 副会長：

事業開催については、東京都に公益申請したもの

み実施ができる。新規事業を実施するには、東京都に変更申請が必要である。従来通りの運用をお願いしたい。消耗品や郵送費といった、地区活性化資金以外で講師料や会議費が必要な場合は申請をお願いしたい。したがって、地区活性化資金は残す方針である。今回は初めての取り組みであるので予算は概算額で構わない。

第16地区：

Zoomによる研修会が、早期に参加締め切りになることがありますので、早期に定員がうまってしまった場合、会員に限定して、追加募集を検討していただけますか。入会促進につながると考えます。TVの地上波放送のように、見逃し配信のような、Zoomで開催した研修会を、会員に限定して、期間限定で、拝聴できるようなことも検討していただければ、これも入会促進になるのでは、との意見がありました。ご検討お願い致します。

野口幸作 副会長：

早期に参加締め切りとなってしまう点に関して、通常研修会では1週間前を参加締め切りにしている場合が多い。参加締め切り後にZoomの参加URLを送付しているのであれば、追加募集は可能である。配信形式がZoomなのかウェビナーかで定員数が変わる。Zoomで定員に達したため、配信をウェビナーに変更することは可能である。ただし、先に参加URLを送信してからの変更はできない。専門部でまだ集約はされていないが、配信に関する規定を現在作成中である。Zoomやウェビナーといった配信形式や追加募集に関しては、相談していただければ対応可能である。見逃し配信に関しては、参加申し込みや会員の必要性がなくなり、事業自体が成立できない事態が想定される。したがって、見逃し配信を行うことはできない。

連絡事項

高野修彰 渉外委員長：

来年度の総会での表彰者の選定をお願いしたい。来月の理事会で提出書類を送付する。

竹安直行 情報委員長：

第12地区研修会について、ホームページにアップロードが完了した。ご確認していただき、修正などがありましたらご連絡をお願いしたい。

市川篤志 学術委員長：

ペイシェントケア学術大会について、今までの参加登録者は44名となっている。参加人数が少ないため、各地区での広報をお願いしたい。学術大会での係について、各支部で実行委員として2名の選出をお願いしたい。選出の締め切りは11月10日とし、決まりましたらご連絡をいただきたい。

長谷川雅一 広報委員長：

練馬まつりは、悪天候の中ご支援をいただいた、城西支部委員会から参加された皆さんに感謝申し上げる。中央区健康福祉まつりは、本年度から骨密度測定のお手伝いを実施した。中央区保健所からお礼のメールをいただいたので、城東支部各委員長から参加者の皆さんへ、ご報告をお願いしたい。11月4・5日はOTAふれあいフェスタ、11月11・12日には東村山市民健康のつどいが開催される。人員調整をいただいた、城南支部、多摩支部の各委員長に感謝申し上げる。

江田哲男 会長：

日本放射線技術学会東京支部との合同学術大会に関して、準備のための会議を企画している。次回は学術委員の参集を予定している。また、日本診療放射線技師会 上田会長と若手会員との懇談会を予定している。この企画は、毎年各都道府県で行っており、今回、東

京都が候補となった。日付は未定である。本懇談会の目的は、若手会員が上田会長と忌憚のない意見を直接お話しできることである。若手会員の年齢は20代から30代を想定している。東京都では2名選出を想定しており、候補者がおりましたら推薦をお願いしたい。詳細な日程などが決まり次第、改めて皆さんにご案内する。

今後の予定について（総務委員会）

鈴木雄一 総務委員長：

まず国際委員の承認に関して、先月緊急でメール会議を行いご承認いただいた。ご協力いただき感謝申し上げる。長谷川広報委員長が発言されていたが、11月4・5日はOTAふれあいフェスタ、11月11・12日には東村山市民健康のつどいが開催される。11月25日にはペイシェントケア学術大会が開催される。来年度の事業計画案および予算案に関して、提出期限を11月30日の専門部委員会までとしている。来年1月の理事会では、取りまとめた事業計画案および予算案を議事として提出したいと考えている。皆さまのご協力をお願いしたい。

以上



東 放 見 聞 錄

ふれあい

Web会議システム。会議という仕事以外にも広く使われるツールとなったようです。テレビ電話の世界を遠い未来のものと想像していた私にとっては驚くべき現実となりました。Web会議システムは、まさにコロナ禍が生んだ副産物といってよいのではないかと思います。

東京都診療放射線技師会でも、地区研修会、ワンコインセミナー、学術大会等、Web会議システムを利用した事業がコロナ禍で開催されてきました。コロナ禍前は業務終了後、急いで研修会会場に向かっていましたが、今ではゆっくりと自宅に居ながら研修会へ参加できるようになりました。委員会・理事会等においても、開始時間に間に合わない場合などはWeb会議システムの利便性を最大に感じています。

10月に熊本を訪れたとき、せっかくなので熊本城に立ち寄ってみました。インバウンドの回復も手伝って、熊本城園内にはたくさんの観光客と修学旅行の学生達が訪れていました。震災後に完成した特別見学通路からお城を見ていたとき、ボランティアガイドと思われる方から少しお話を聞くことができました。手作り?の案内資料が収められたファイルを使って園内、震災当時の話し等、丁寧に説明をして下さいました。そして、最後にひとこと「完全復旧は2030年以降といわれていますが、必ず成し遂げますよ」と微笑まれました。あいにくお城の中までは時間が無く行けませんでしたが、ボランティアガイドさんとの時間は思い出に残るひと時となりました。

Web会議システムは、移動・空間に束縛されないありがたいツールのようです。しかしながら、人と実際に顔を合わせて話ができる空間もやはり大切な時間であることを改めて感じています。災い転じて福となす。コロナ禍からの復興が新しい時代へ繋がるよう、これから日々を過ごしていきたいものです。

令和5年お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

令和6年が良い年になりますよう、新春のつどいでお会いできることを楽しみにしたいと思います。



迷い neko

医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、これまで数多くの病院・医療機関より要請を承っております。
勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望にあわせて
お仕事をご紹介致します。
医療スタッフは、随時募集しております。ご友人、お知り合いの紹介も随時受け付けております。

☆ まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご案内させて頂きます。

☆ ご登録・ご相談は無料です。

☆ 健診や外来での撮影業務等、単発からございます。

☆ 受付時間 平日 9:00 ~ 18:00

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 FAX:03-3869-5802

E-mail: info@jmb88.co.jp URL: https://www.jmb88.co.jp

一般労働者派遣事業許可: 派13-301371 有料職業紹介事業許可: 13-ユ-130023

Postscript

新 年、あけましておめでとうござ
います。今年は久しぶりに規
制のないお正月。帰省先で年末年始を
過ごされていた方も多いのではないで
しょうか。

さて、今年の干支は甲辰(きのえたつ)です。干支は十二支と十干の組み合わせで表されます。十二支は年賀状のデザインやSNSのスタンプ等でもしばしば使われますし、帰省した際、親戚のおばちゃんたちがよく言う「〇〇ちゃんは△△ちゃんと同じ干支で、何回り違い」のネタ?でおなじみです(この場合、正しくは十二支)。十二支は12という数から月を象徴とした生命の循環を表すともいわれています。一方、十干は太陽を象徴とした生命の循環を表し、甲・乙・丙・丁・戊・己・庚・辛・壬・癸の10種類で、これは木(き)・火(ひ)・土(つち)・金(か)・水(みず)の五行のそれぞれに陽と陰の兄弟(え・と)の2つを組み合わせて成り立っています。干支は60年で一巡して還暦というのはご存知の通りです。

干支で見ると甲辰はどんな年になるのでしょうか。まず「甲」は十干の最初で、種子がかたい殻に守られて芽を出す前の状態を表し、物事の始まりや再生、といったところです。「辰」は十二支の5番目、十二支中で唯一の空想上の生き物であり、縁起の良い動物で出世や権力に大きく関わる年といわれています。ちなみに60年前は観光目的でのパスポート発行が可能になり、東京オリンピックが開催され、東京モノレールや東海道新幹線が開業し、日本武道館が開館しました。今年もそんな大躍進の年になると期待したいと思います。

皆さんにたくさんの素敵なお出来事と幸運が訪れる一年となりますように!

< Chai姉 >



東京放射線 第71巻 第1号

令和5年12月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

令和6年1月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 江田哲男

振替口座 00190-0-112644

電話 東京(03)3806-7724 <https://www.tart.jp/>

印刷・製本 株式会社キタジマ

事務所 執務時間 月曜~金曜 8時30分~16時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日~1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03)3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一